

(株) CLEAR TRADE

代表取締役

PICK UP

THE PERSON

山崎 裕久

KEY WORD

進化

— shinka —

一流の生命保険会社に勤めながら、副業として事業を始め、やがて独立して、起業家を後押しする活動などに専念するに至った山崎社長。社長を突き動かしたのは、世界の大手企業と比しての日本の会社への危機感。「海外の大手企業がものすごい勢いで変化しているのに、国内の大手企業はほとんど変化していない」。その現状を打ち破るべく日々研鑽を欠かさず経験を積み、人脈を広げ、蓄積したノウハウを起業家たちに伝える日々を送っている。その「恐れず進化する力」を皆が身につける未来のために。



「自分で考え、変化することこそが
人にも企業にも求められている」

株式会社
CLEAR TRADE

【Facebook】
<https://www.facebook.com/yamazaki.hirohisa>

【LINE】
hirohisa0101



日本再興のために 恐れず変化する起業家を増やす 下支えになりたい

「好奇心がすべての原動力です」と話す『CLEAR TRADE』の山崎社長は、異色の経歴の持ち主だ。親戚中が静岡県の公務員でありながら、一人だけ上京し大学院卒業後に大手生命保険会社でシステム開発に従事。安泰を手に入れたかに思えたが、日本の大企業が抱える問題を考えるようになり、リスクを顧みずに独立起業。現在は、起業プロデュースやセミナー講演などを多数手掛ける傍ら、日本再興を標榜する事業に志を燃やしている。社長が気づいた「大企業の問題」とは何だったのか。タレントのダンカン氏がインタビューし、社長の想いに迫った。



創業して現在に至ります。
——『日本生命保険』は大企業ですし、会社勤めの安定を捨ててリスクを取るかどうかの葛藤があったのでしょうか。
それが実は、私にとっては、むしろ安定を選んだ結果が起業という感覚でした。会社の中にいると感じられないことが、個人事業をやってみるとたくさん感じられたんです。人脈や情報についても、個人事業主としての肩書きで人と会うと会社勤めの人に比べて教えてもらえることが増えることに気づきました。それらを総合的に勘案した結果、「これからの未来は劇的に変化するんだな」ということに確信が持てたのです。あれから3年が経ちましたが、私の予想は間違っていないかと思えます。最近、シリコンバレーや中国の深圳（シネン）に行くと実感しているのですが、直近10年で日本は世界から大きく差をつけられてしまっており、大企業を含めて日本は時代に淘汰されつつあります。
——うーん、厳しいな。言わば日本の会社は世界的な進化から取り残されつつあると。

私は「慶應義塾大学」では理工学部で、小学生のころから好きだった化学や物理を学んでいたのですが、部活動として応援指導部に入部して4年間ほぼ毎日学ランで応援に明け暮れていたんです（笑）。部活に打ち込みすぎて留年するほどだったんですよ。一方で、大学院に進んでからは、学問一筋で研究に打ち込む日々になり、論文になる発明もすることができました。研究室の先輩たちは製薬会社に入って薬をつくるような仕事をしましたし、私も当初はその道に考えていたのですが、いざ社会に出る時になって、「応援部と学問、どちらが楽しかったのだろうか」と考えたら、学問も面白かったのですが、懸命に応援に打ち込んだ後の充実感、達成感のほうが素晴らしいものだと感じました。それで同じような充実感を味わいたいと思い、営業マンになるべく『日本生命保険』に入社しました。ところが理系出身ということもあってシステム開発部門に配属されてしまいました（苦笑）。退職するまで5年半ずっとIT



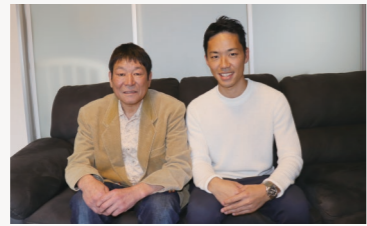
山崎社長は『CLEAR TRADE』さんにて、どのような事業を手掛けておられるのでしょうか。
一言で言えば「志のビジネス化」です。高い専門性のあるサービスや製品をお持ちなのに、ビジネスとして上手くマネタイズできなくて困っている方というのは本当に多いんです。美味しいラーメンが作れば必ずしも繁盛するわけではないですよね。感動レベルのサービスや商品を持っている方と提携し、最新のマーケティング手法と人脈を駆使してビジネスに仕立て上げるといのが弊社の得意分野で、個人事業主様から中小企業様までご愛顧いただいています。私自身、現在も投資理論の研究やAI開発も行っていて、理系の技術者としての顔も持っているんですよ。ビジネスプロデュースをしながら、年間50回ほど全国各地講演もさせていただいています。
——ほう、なかなか専門的な知識と経験が求められそうですね。社長はこれまでどのような道程を歩まれて？

残念ながらそうだと思います。各国の労働者の収入を比較しても、今や日本は「安い労働力の国」になりつつありますね。これは海外に行かないと体感できないことですが、世界は目まぐるしい速度で変化しているんです。先日会った中国の投資家は、「東京は時間が止まった街だ」ということと聞いていました。変化することが必ずしも良いこととは思っていませんが、資本主義である以上、進化の速度が早いほうが有利になってしまいますから、一人でも多くの日本人に危機感を持ってこの現実を受け止めてほしいと思っています。私が現在起業家の方々にバックアップするような仕事をしているのも、こうした事実を日本の優秀な方々に知らしめたいがため。今後は活動をさらに拡大すると共に「日本再興」を主題とする事業も始め、社会に世界と日本の現状をお伝えして、ムーブメントを起こす下支えをしたいと思っています。
——これからはますます忙しくなりますね。家族サービスをやる暇もないんじゃないですか（笑）。

代表取締役 山崎 裕久

略歴：『慶應義塾大学』理工学部、同大学院にて基礎理工学を専攻し、抗がん剤の有機合成研究などを行う。卒業後は『日本生命保険』に入社。システム部門で活躍した後、2016年に『CLEAR TRADE』を設立。提携5社・7事業を展開。ビジネスプロデュースやセミナー講演などを行う傍ら世界の様々な国を回り、日本再興のための事業を進めている。

いえいえ。実は起業したのは妻や娘と接する時間をしっかり取りたいという思いもあってのことだったんです。何しろ会社勤め時代は先輩が夜10時を過ぎてもまだ頑張っていることも多くて、可愛い娘の顔が見れないのでは、何のために働いているのか分からないなど。その点、今は家族と一緒に過ごせる時間を毎日確保できていることが一番幸せかもしれません。今は子どもたちの教育のため、近いうちにハワイやシンガポール、オーストラリアといった場所に移住したいと思っています。自然にバイリンガルやトリリンガルになれる環境の中で、遅く成長していきたくですね。
——プライベートにお仕事に、今後もお充実した日々を送ってほしいですね。私も陰ながら応援させていただきますよ！



タレント ダンカン

「海外の企業の大きな変化と、国内企業の変化のなさへの危機感を語って下さった山崎社長。『だからこそ優秀な人たちに指針を示し、日本再興に貢献していきたい』というお言葉が印象的でした。その専門的な知識を活かし、志を持ってビジネスに励む人たちの支えとなってほしいですね！」